

京都府少子化対策審議会・京都府子育て支援審議会 開催結果
(平成28年度 第4回)

日 時 平成28年9月8日(木) 15時00分から16時30分

場 所 御所西平安ホテル「朱雀の間」

出席者 大江委員、定本委員、鈴木委員、真山委員、山岡委員、藤本明弘委員、楠委員
山本委員、田村委員、諏訪委員、津田委員、栗田委員、田中美賀子委員
篠原委員、藤本明美委員、伊豆田委員、藤本美子委員、村上委員、塩谷委員
神先委員、宮村委員、北村委員、金井委員、山口委員

議事内容

1. 少子化対策基本計画の検討について

<中間案についての意見>

◇全体に関して

- ・「子ども」がこの時代にどんな風に育ってほしいのかということがもう少し計画に掲げるべき。
- ・「第2章」に、この施策体系の理由を掲げる必要があるのでは。

◇結婚支援

- ・「インターンシップ」という言葉は就業体験を中心としている。家庭に入ることは少し異なるので、言葉の変更を検討願いたい。
- ・大学生が仕事と子育てを両立している家庭に入る事業について、丁寧なカリキュラムが必要
- ・婚活について、パーティ等を開催し、自然な形で出会わないと続かない。無理に会わせても難しい。

◇妊娠・出産支援

- ・性教育が非常に重要。生殖や避妊のことだけでなく、思春期以前ぐらいからきちんとした性教育が必要。

◇総合的支援

- ・一人目に対する支援策も必要だと考える。
- ・学費が払えない親が増えている。途中で退学している者も多い。そうなると、2人目・3人目は産まないとなる。経済的支援を考える必要がある。

◇少子化に関する教育及び学習の機会の提供並びに雇用環境の整備や府民の気運の醸成に関する施策

- ・結婚や子育てに対し、ポジティブなメッセージが伝わるような書きぶりがないのではないかと考える。
- ・ワーク・ライフ・バランスの視点を重視してもらいたい。ゆっくりと両親が子育てに関わる時間がないままにどんどん子どもが大きくなっていることに危惧している。

2. 今後の対応

- ・意見を参考に中間案を作成し、9月議会に報告
- ・その後、パブリックコメントを実施し、11月目途に最終案についての審議会を開催予定
- ・12月議会に最終案を議案として提出